

港湾・空港工事のあり方検討会について

【資料1】

港湾・空港工事の実施に当たっては、新担い手3法を踏まえつつ、「働き方改革」、「担い手の育成・確保」、「生産性の向上」の3本柱を中心に取り組みを推進する必要がある。

重点取組課題

港湾・空港工事における働き方改革、担い手の育成・確保、生産性の向上を推進する方策を検討会を設置し検討

港湾・空港工事のあり方検討会における検討内容

担い手の育成・確保		生産性の向上
<p><第7回(R4.6)、第8回(R4.10)> 「港湾の設計・測量・調査等業務における契約変更事務がトライン」の改定 ✓ 業務についても工事と同様に課題整理等を行った上で改定(R4.10)</p>	<p><第4回(R4.2)、第5回(R4.3)> 港湾工事の事業環境を踏まえた請負代金のあり方の検討 ✓ 諸経費の割増を行い下請への波及効果を検証するモデル工事創設(R4.3月公表) 「港湾工事における契約変更事務がトライン」の改定 設計変更にあたっての課題整理等を行った上で改定(R4.3公表)</p>	<p><第8回(R4.10)から第10回(R5.3)> プレキャスト工法導入に関する検討 ✓ プレキャスト工法導入マニュアル策定に向けて、検討すべき方向性等について議論する。</p>
<p>働き方改革</p> <p><第1回(R3.4)～第3回(R3.7)> 「港湾・空港工事の工期の設定に関するがトライン」の策定 ✓ 適正工期の設定にあたって必要となる条件明示方法等を策定(R3.7公表)</p> <p><第6回(R4.5)～第7回(R4.6)> (非自航船)居住設備がトラインの策定 ✓ 法的規制の無非自航船の居住施設について、働き方改革の観点から望ましいあり方を検討。(R4.6)</p>	<p><第6回(R4.5)～第10回(R5.3)> 作業船の運転/就業時間の見直し ✓ 作業船の積算基準と改正労働基準法の整合性について課題を整理し、対応策を検討する。(R5.3)</p>	<p><第8回(R4.10)から第10回(R5.3)> i-Constructionの推進を踏まえた作業船に求められる性能の検討 ✓ i-con推進委員会での議論を踏まえつつ、作業船に求められる性能等を検討する。 ✓ ICT施工、BIM/CIM ✓ 自動化・自律化</p> <p><第9回(R5.1)から第10回(R5.3)> 「港湾工事の脱炭素化」の取組に関する検討 ✓ 作業船の使用など港湾工事湾工事における二酸化炭素排出量削減に向けた具体的な課題抽出と対応策について検討する。</p>
<p><第6回(R4.5)～第10回(R5.3)> 港湾・空港工事の持続可能性を確保するための作業船のあり方の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 作業船を取り巻く現状把握 ✓ 適正な保有水準の整理 ✓ 保有(運用)を行う上でのコスト面での課題整理 ✓ 担い手の育成・確保、働き方改革の観点からの課題整理 →積算上の就業時間等、居住設備の水準等の課題整理・検討 ✓ 作業船に求められる性能の整理 		